

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念、施設理念に基づいた施設の年度事業計画をふまえて、事業所としての年間計画を職員の協議によって策定している。事業所の計画目標を元に個人目標も立てている。実践状況の報告や評価を会議などで共有し、PDCAサイクルで次につなげている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍でボランティア活動中止となった。保育所や幼稚園との交流は継続して行ってきた。今後は地域とのつながりを再構築していきたい。	地域の方が気軽に寄れる開かれた事業所となるように、大平11区の活動に参加してはどうか。もっとたくさん方に和みの家を知ってもらえたらいい。		近隣の理解を得ることは重要。地域の人も施設があることはわかっているが、どういう施設なのか理解しているかはわからない。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス提供の報告を行ない、地域を代表する出席者の意見をいただくとともに、包括等の最新情報を得て、サービス向上に反映するようにしている。	感染対策の制限があり、グループホームの中を見たことがない。今後はグループホーム内で運営推進会議ができるようになるといい。		運営推進会議に近隣住民にも参加してもらってはどうか。
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議出席を依頼し、議事録の提出を行っている。業務上で疑問に思ったことは、その都度担当部署へ連絡、相談、報告を行なうようにしている。	報連相はできている。今後は早めに連絡することで、運営推進会議に出席してもらえるように配慮していく。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束0宣言を実施。法人研修にも定期的に参加している。毎月のスローガンの1つとしてスピーチロックの対策を取り上げ、身体拘束しないケアに努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の全体研修で施設長による倫理、虐待防止の研修を実施している。職員の精神的ストレスにも配慮し、話しやすい職場環境の構築にも努めている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在成年後見制度を利用する入居者はいないが、事業所内で学習用の為の資料を配布するなどして、職員が学ぶ機会を設けた。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結や解約時は利用者、家族の理解力に合わせ丁寧に説明している。契約内容の変更に際してもその都度、説明して同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、 家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者からの要望とサービス担当者会議、面会時などに家族から意見や要望を頂いた時は、共有、検討して運営に反映させている。介護相談員来所時に利用者が話しやすいようにしていきたい。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な面談や毎月のサービス向上会議などで職員の意見を集め、運営に反映している。グループホーム内で解決できない案件については、和みの郷管理会議に上申している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の希望条件に合う働き方ができる。働きやすい環境を目指しており、希望によっては異動もできる。各自がやりがいを持って働けるように配慮している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人には人材育成部会があり、新人研修から始まり、役割に応じた研修を受講するシステムがある。新入職員教育も丁寧に実施している。		Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	沼津市グループホーム連絡会で、地域の動向やそれぞれの事業所の取り組みについて情報交換を行いながら、各事業所の課題についても助言をもらうことができる。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場に おらず、暮らしを共にする者同士の関係 を築いている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家事の一部や、介護上必要な物品 の作成を担ってもらうことで、互いに 感謝を伝え合う機会を多く持てるよう にしている。			
15	馴染みの人や場と の関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの 人や場所との関係が途切れないよう、支 援に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策をしながら面会が行えるよう に環境整備をしている。日頃の様 子が分かるように、家族には毎月のお 便りで報告している。今後は行き たい所に外出できるように支援して いきたい。	感染対策が緩和してから居室での面 会ができるようになって子孫、兄弟姉 妹、姪甥が来所している。今後は「一 度、家に帰りたい」というニーズに家 族と協力して応えていけるように支援 していく。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、 一日の過ごし方の希望や意向の把握に努 めている。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴、普段の生活の様 子や訴えから本人の思いや意向を 把握するよう努めている。また、チー ムで共有できるように、経過記録に 記入し、サービス向上会議などで話 し合いを行っている。			
17	チームでつくる介 護計画とモニタリ ング	本人がより良く暮らすための課題とケアの あり方について、本人、家族、必要な関係 者と話し合い、それぞれの意見やアイディ アを反映し、現状に即した介護計画を作成 している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から本人のニーズを把握するよう にしている。センター方式という書 式を活用して、職員全員から意見を 集め、課題の分析に活用している。 医療面での課題については、訪問看 護師や主治医と相談している。ケア プラン作成前には家族に報告して意 向を確認し、プランに反映するよう にしている。	現状維持できるようにしていく。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践 への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや 工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を 共有しながら実践や介護計画の見直しに 活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアの実践や日常的な出来事は、経 過記録に記入し職員間で共有をして いる。ケアプランの実践記録も行っ ている。利用者の突発的な出来事や状 態変化に合わせて一時的にサービ スプランを立案して記録、共有、実 践、評価してケアプラン追加してい る。また、タブレットを使用した記録 の電子化に向けた取り組みも行っ ている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医以外の医師に、家族と主治医の同意を得てからコロナワクチンの接種を行ってもらった。また、他部署から職員に来てもらい、業務が滞ることが無いように対応した。	看取り期の利用者と家族から点滴の希望があった際はグループホームでは医療行為はできないが、病院ナースの協力で毎日実施。枠に捉われない柔軟な対応もできている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの収束が見えず、ボランティアや地域の方との直接の交流は困難であったが、保育所や幼稚園との交流は感染対策を実施して行うことはできた。また、定期的に理美容業者に来てもらいヘアカットを行っている。	保育所も地域の役に立ちたいと願っている。保育所や幼稚園に出かけて行って子ども達の遊ぶ様子をみることができればお互いが地域の中で、一緒に暮らす喜びが増すのではないか。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時に、家族や本人へ説明をしてかかりつけ医を選んでもらっている。家族対応の受診時には、身体状況を受診表に記載し、家族と医師が様子を把握できるようにしている。受診結果は記録に残し、訪問看護師への報告もしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時は利用者の状況や経過を家族と医療機関へ連絡を密にして情報交換に努めている。また、退院前には面会に行き、現況や退院後に注意する点など再発防止も含めて病院関係者から聞き取りを行っている。		Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時、サービス担当者会議、状態変化時などその都度、できることとできないことを伝えた上で終末期の意向確認を実施している。主治医や訪問看護師とも共有している。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新入職員へ発生時の対応を教育する機会があった。その中で、他のチーム職員も再度発生時の対応について復習する事ができた。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設の防災対策計画・防災マニュアルに則り、避難訓練を実施している。防災訓練参加表を作成し各職員に必要な訓練に参加できるように配慮している。	浸水想定時は和みで車を預かってくれることで地域住民は助かっている。大平 11 区と協力し合えるようお互いを知るところから始めていく。	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	大平は水害等発生しやすい地区であり、色々な場面を想定して 11 区自治会との協力体制が必要。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者に決定してもらう言葉がけをするように意識して行っている。排泄については排尿時は○白丸と排便は△三角など職員間で隠語を使用する工夫をしている。。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	利用者にとって、職員の発する言葉により、その一日が変化する。尊厳を傷つけないように優しく、思いやり持って接するようにお願いしたい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床就寝時間や入浴、食事など個々の利用者の希望や状態に合わせて日々調整している。利用者のペースに配慮して対応している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は隣接する和みの郷食事サービスから届けられる。感染症対策により、盛り付けは個々の食器に職員が行っている。テーブル拭きや食器洗いなどできる範囲で一緒に行っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	全ての利用者の好みを満足させるのは難しいが、季節に合わせて要望を聞くことが大切。元気な利用者にはお手伝いをしていただくのも有効。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	Ⓐ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分は好みの飲み物を提供している。むせ込み・摂取量・嚥下の様子などを確認し、食事の形態や栄養補助食品への変更などの対応を、主治医・訪問看護師を含めたチームで相談しながら調整している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ あまりできていない D. ほとんどできていない	各自で実施後に職員が仕上げ磨きを行っているが、歯科協力医がまだ設置できていないため、専門的な知識が薄い。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	時間で誘導するのではなく個々のパターンに合わせている。便秘や下痢の時は、主治医・訪問看護師と相談して下剤の調整を行い、気持ち良く排便ができるように努めている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な入浴の順番は決まっているが、その日の体調(気分や眠気、血圧の数値など)を考慮して、変更している。気温や利用者の好みに合わせて湯の温度を変更している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室の温度や湿度をこまめに確認しながら、エアコンや寝間着、寝具などを調整している。個々の利用者で快適な温度が違うので、その点にも注意して対応している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤情報を経過記録と同じファイルに綴じてあり薬の用法・副作用に関する情報を得ている。錠剤が飲みにくいなどあれば、主治医と薬剤師に相談し粉砕などで対応している。服薬後の状態を主治医に報告し、訪問看護師とも共有している。		Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	洗濯干しやたたみ・テーブル拭きなどの家事を役割として依頼している。季節の行事や誕生日会の計画、嗜好品の提供・施設周辺の散歩などを行っている。	地域の催しに参加したり、ホーム内外で活動できるような支援ができるようになるといい。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	近隣への散歩は行えているが、コロナ禍以降、買い物など希望にそった外出支援は行えていない。感染対策もあり、家族との外出も受診以外は控えていただいていた。	今後は家族や兄弟の協力を得て、行きたい場所へ出かけられるように支援していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出規制や行動制限によって、お金を使う機会もなくなっている。今後は、施設にくる移動販売の活用なども考えていく。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や親族からの手紙は本人へ渡している。家族との電話を繋ぐ対応も行っている。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	不要なものは処分して、安全に移動できるスペースの確保を行った。季節のカード、子供達や職員が作った作品を飾って、季節を感じたりほっこりできる環境の整備を行った。散歩で摘んできた花を飾って楽しむ工夫も行った。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の関りの中で本人のニーズを把握し、チームで共有している。ニーズを基にケアプランを作成し、本人の意向に沿った暮らしが送れるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴・家族からの情報・日々の関りの中から情報を得ている。記録に残してチームで共有し、支援の方法やケアプランの作成に活用している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気になった変化は、経過記録に記入してチームで共有している。センサーの導入や居室のレイアウトの変更を行い、安全面にも配慮している。医療面では、主治医・訪問看護師と適時相談できる環境を取っている。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	臥床・離床、トイレ、入浴、食事のタイミング等については、各利用者のペースを崩さないように注意して対応している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができる	A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の協力もあり、持つことができる。衣類・写真・食器・時計・杖・本・ぬいぐるみなど利用者によって様々である。好きな動物の食器など、大切にしてもらえそうなものを職員が用意することもあった。		A. 充分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D ほとんどできていない	

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナやインフルエンザによる規制により、外出は制限されているため、意向にそった対応が十分にできていない。施設内でできる行事を提供していく。	コロナ禍以降中断していた大平地区の行事が再開され始めたため、参加しやすくなっている。区長さんを通じて話しをしていいたらどうか。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者ごとの好みや能力に応じて、家事や生活レク等の役割や楽しみを振り分けて提供している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者が好む話題を把握し、会話をする時はその話題を提供するようにしている。行事についても、食べることが好きな方もいれば、催し物が好きな方もいるので、その方に合った活動の提供ができるようにしている。		A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 充分にできている B. ほぼできている ③ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍以降、外部との交流は激減した。感染対策を優先したため、地域の祭りや小学校の運動会応援も参加できなかった。	今後は大平 11 区の方々や老人会との交流も再開できるようにしていけると良い。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人らしい望む暮らしが長く維持できるように、チームで協力して支援を行っていくよう努めている。地域との関りが今後増えるように、感染状況を考慮しながら対応していく。	ご利用者がとても大切にされていると感じられる。今後は職員との関りだけでなく地域との関りも増えると良い。	A. 充分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	和みの郷の理念が職員間で共有認識し、利用者の晩年を大切にされ、ここで穏やかで安心した日々を暮らせれば最高に幸せだと感じる。